

v 施策の満足度・重要度

20 各施策の満足度

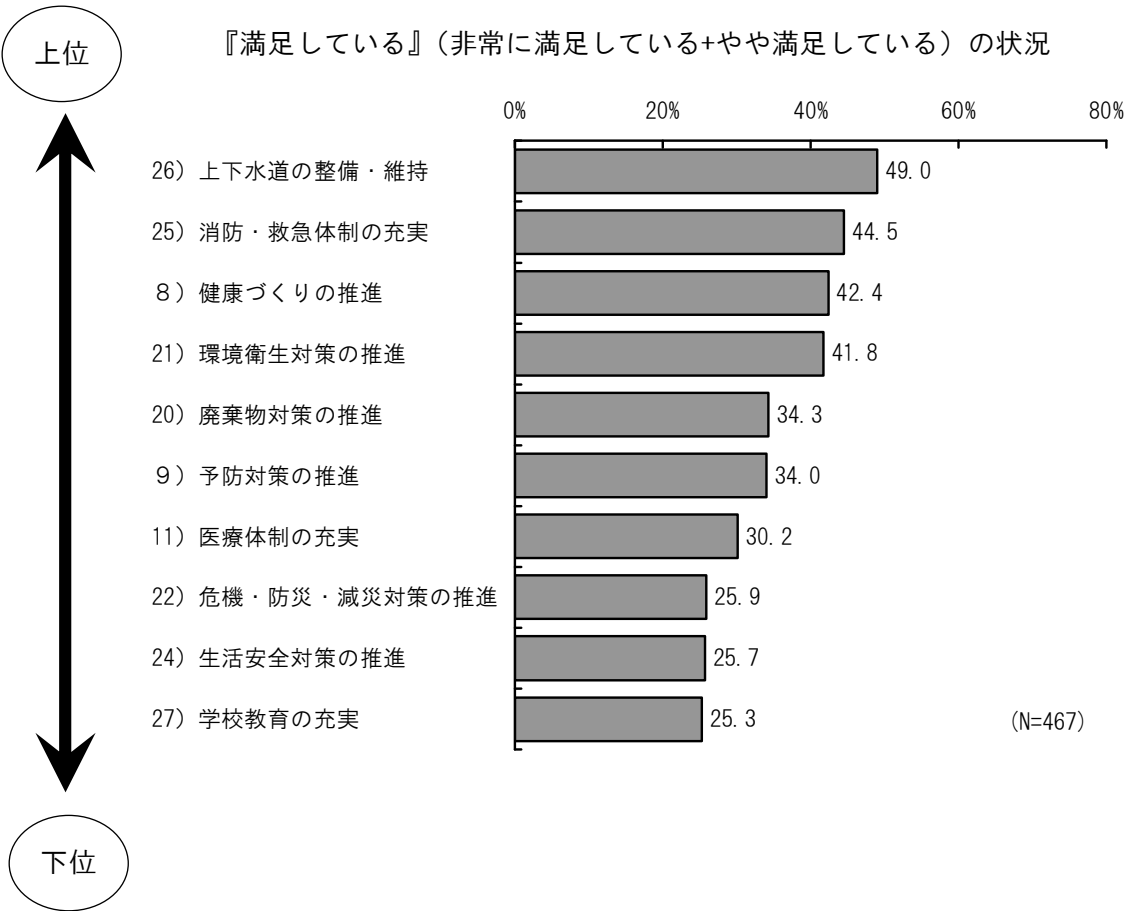
【問20】 次の各施策（テーマ）について、満足度に1つ〇を付けてください。

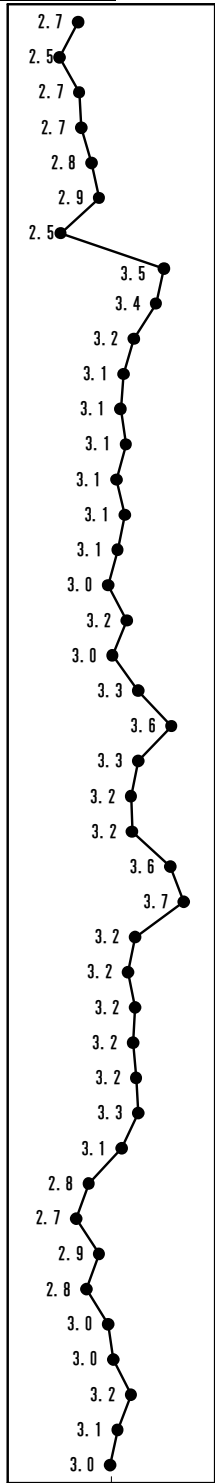
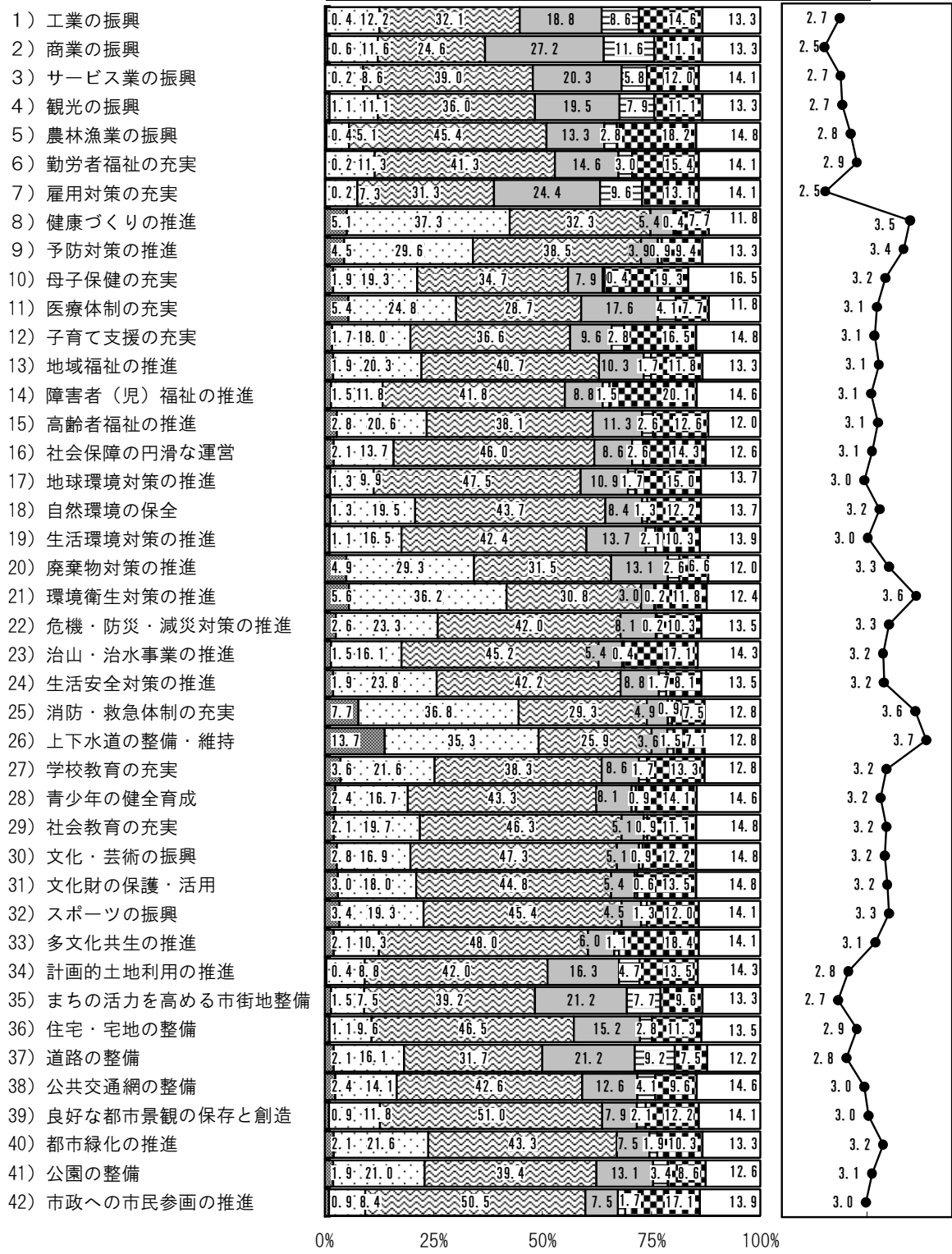
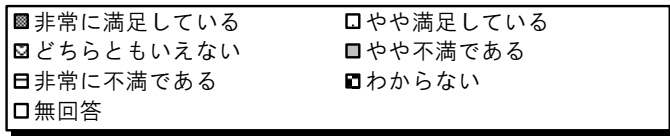
各施策の満足度は、「非常に満足している」と「やや満足している」で“26)上下水道の整備・維持”と“25)消防・救急体制の充実”が多くなっている。

「やや不満である」と「非常に不満である」では、“2)商業の振興”と“7)雇用対策の充実”が多くなっている。

「非常に満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』の上位項目は以下の図の通り。

また、「非常に満足している」に5点、「やや満足している」に4点、「どちらともいえない」に3点、「やや不満である」に2点、「非常に不満である」に1点を加算し、平均を出したところ、“26)上下水道の整備・維持”が3.7点、“21)環境衛生対策の推進”、“25)消防・救急体制の充実”が3.6点などと、多くなっている。(次頁の図参照)





0% 25% 50% 75% 100%

加点方法
 非常に満足している (5点) やや満足している (4点) どちらともいえない (3点)
 やや不満である (2点) 非常に不満である (1点)

21 各施策の重要度

次の各施策（テーマ）について、重要度に1つ〇を付けてください。

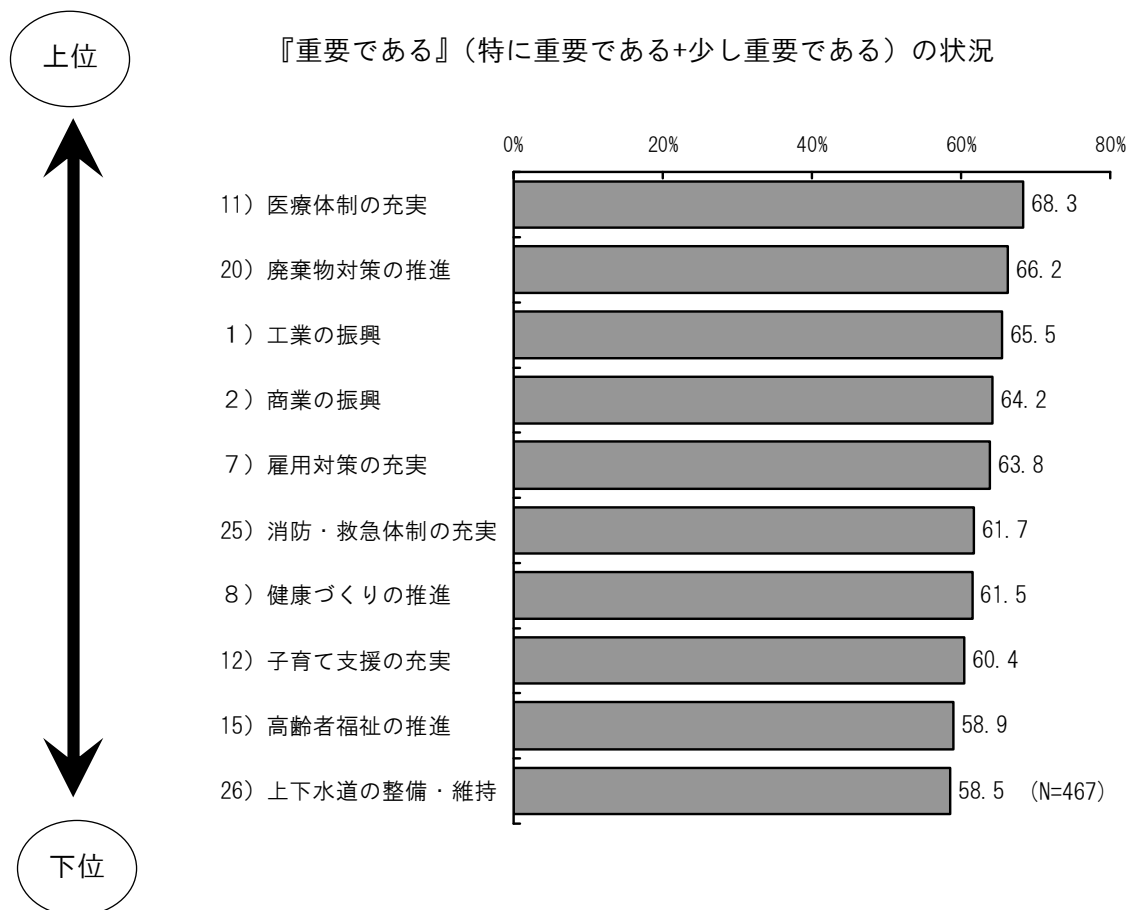
各施策の重要度は、「特に重要である」と「少し重要である」で“11)医療体制の充実”と“20)廃棄物対策の推進”が多くなっている。

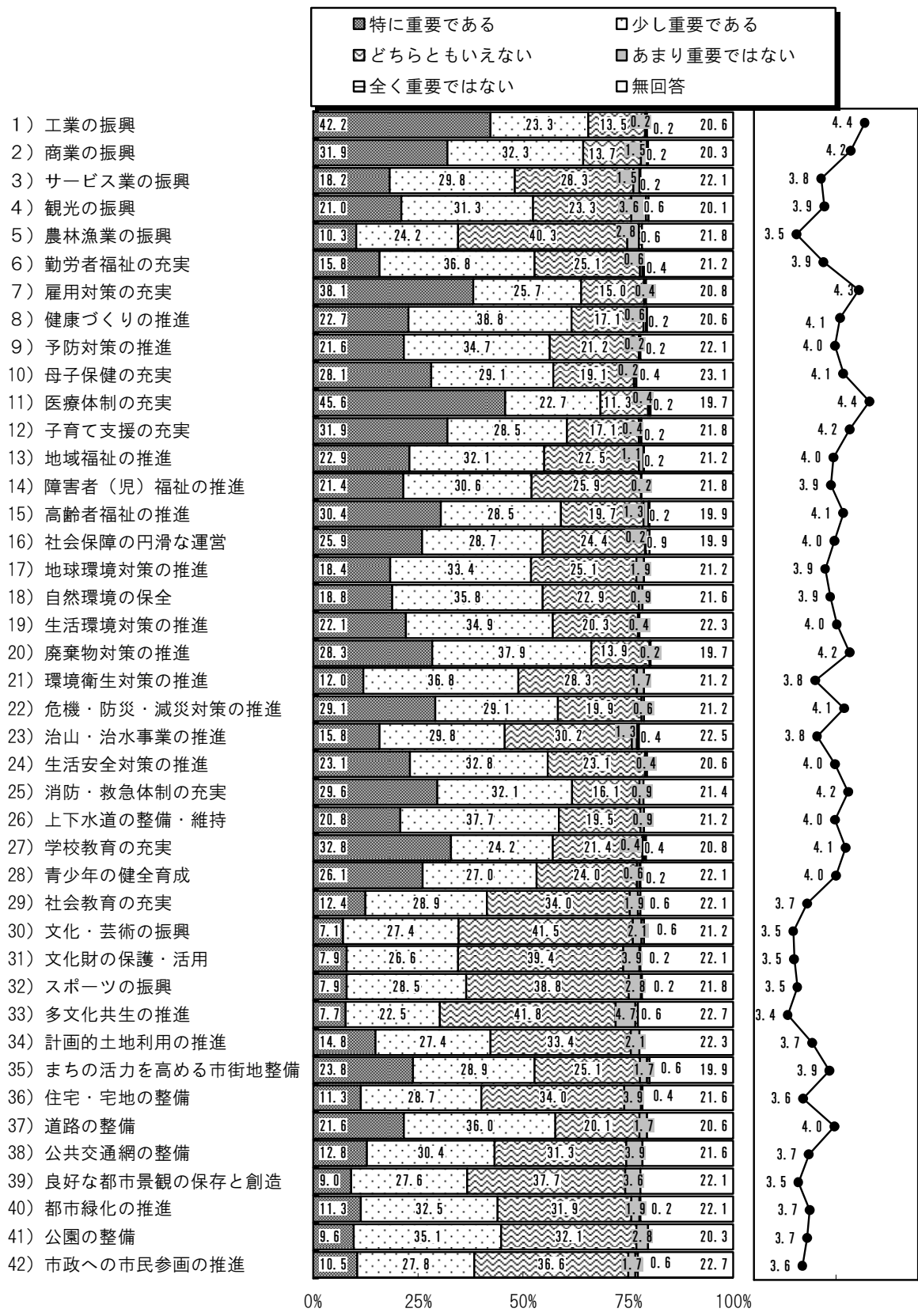
「あまり重要ではない」と「全く重要ではない」では、“33)多文化共生の推進”と“36)住宅・宅地の整備”が多くなっている。

「特に重要である」と「少し重要である」を合わせた『重要である』の上位項目は以下の図の通り。

また、「特に重要である」に5点、「少し重要である」に4点、「どちらともいえない」に3点、「あまり重要ではない」に2点、「全く重要ではない」に1点を加算し、平均を出したところ、“1)工業の振興”、“11)医療体制の充実”が4.4点、“7)雇用対策の充実”が4.3点などと、多くなっている。

(次頁の図参照)





加点方法
 特に重要である（5点） 少し重要である（4点） どちらともいえない（3点）
 あまり重要ではない（2点） 全く重要ではない（1点）

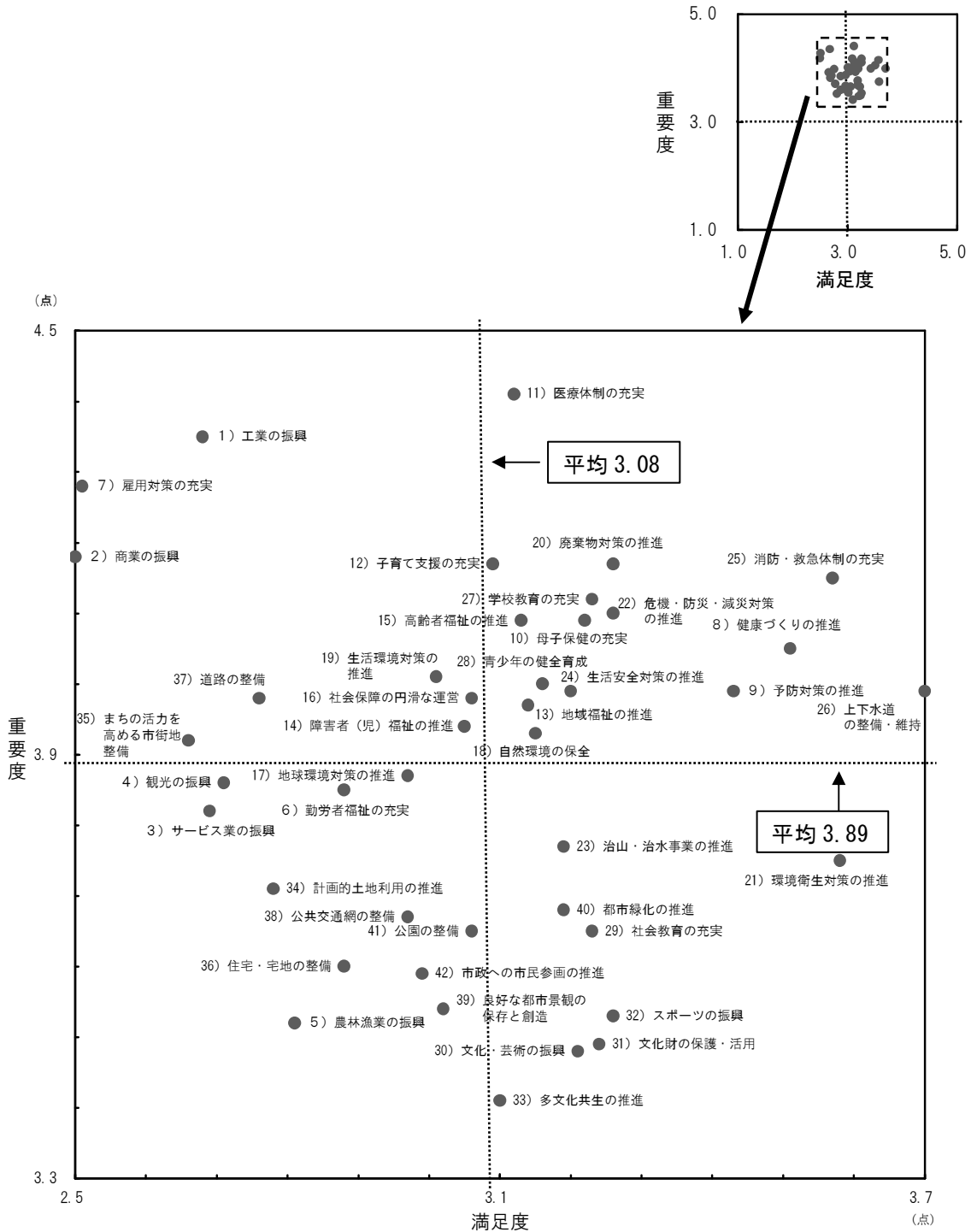
< 満足度・重要度 散布図 >

満足度と重要度の関係を図にした。

散布図の左上には、不満だが重要な項目が位置し、右上には、満足だが重要な項目が位置している。

満足度が低く、重要度が高いものは「1) 工業の振興」、「2) 商業の振興」、「7) 雇用対策の充実」などがある。

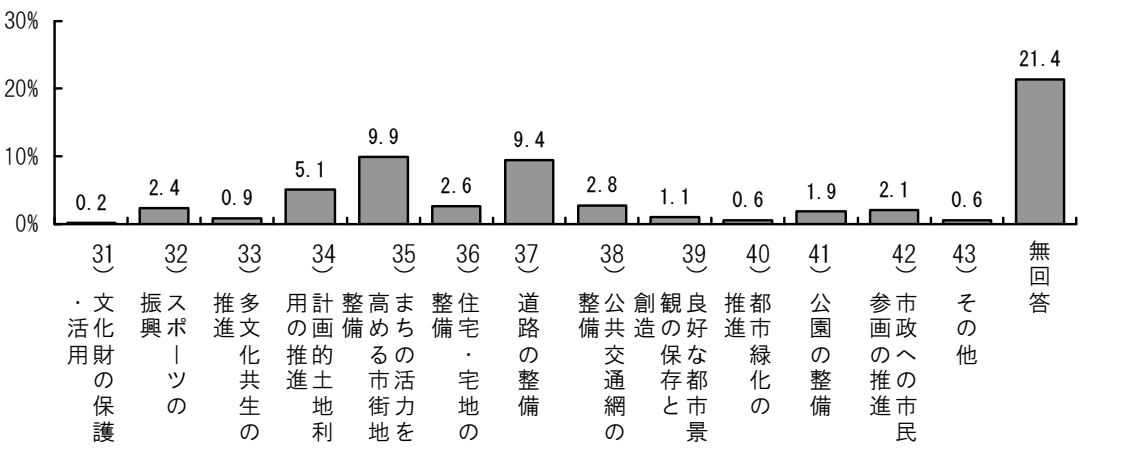
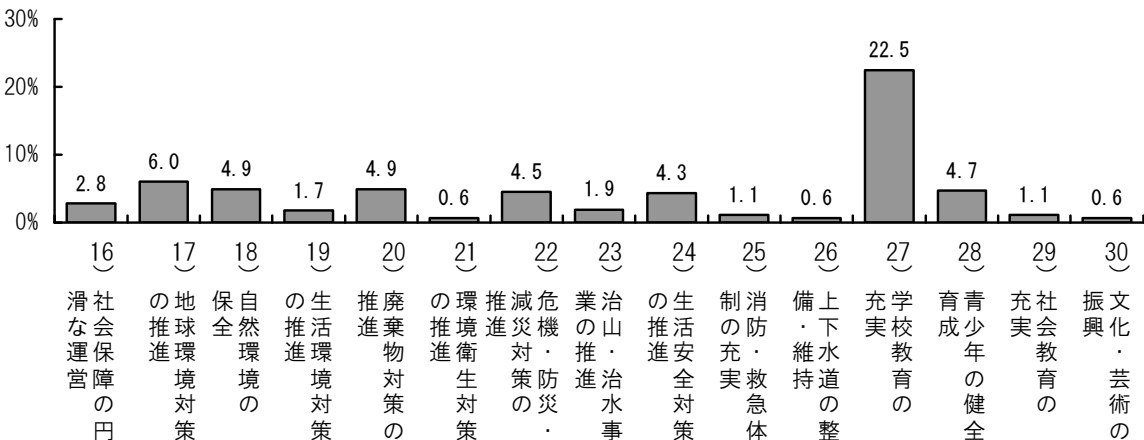
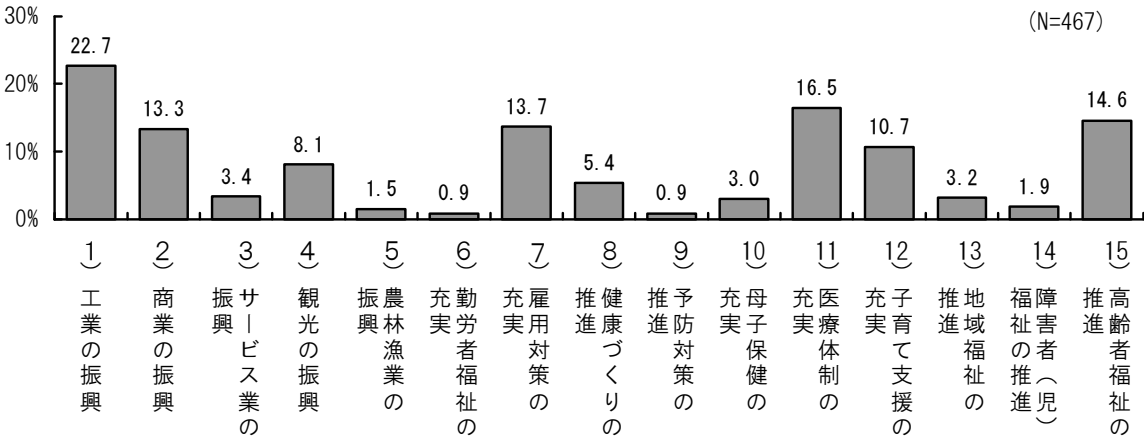
満足度が高く、重要度が高いものは「25) 消防・救急体制の充実」、「26) 上下水道の整備・維持」などがある。



22 今後力を入れて取り組むべきと考える施策（テーマ）

【問21】問20において、岡谷市が「今後力を入れて取り組むべき」と考える施策（テーマ）を3つ選んで、その番号をお答えください。

今後力を入れて取り組むべきと考える施策（テーマ）は、「1）工業の振興」が22.7%と最も多く、次いで「27）学校教育の充実」が22.5%、「15）医療体制の充実」が16.5%などとなっている。



<力を入れて取り組むべきと考える具体的な事業>

- 新病院のほかにはない目玉となるもの。
- 岡谷病院の評価の悪さ、医師の質の悪さ、総合治療の考え方のなさなど、自分の身を任せるには不安がある。上下水道は整っていると思うが水がまずい。毎日飲む物、使う物なので、改善が必須である。
- 病院の待ち時間が長い。障害者の駐車場が不足している。
- 市立岡谷病院の抜本的体質改善。医療従事者として自覚がない医師、看護師、職員がかなり多い。公務員としての自覚も疑われる。市長をはじめ病院長などは改革の意志、意欲があるのだろうか。教育研修等は実施されているのか。
- 私は年金受給者だが、働いているときは定期的に健康診断ができ、それなりの補助があったが、今はそれが無い。これから歳をとるに従い、各種疾病のリスクが多くなるが、それらに対する予防である健診および補助を出す必要があると思う。「自然環境の保全」や「学校教育の充実」もいろいろあるが、スペース上省く。
- がん検診など、テレビなどで無料でできるものがあるといっていたが、今まで一度も無料の案内を受けたことがない。無料にならない理由があるのなら説明をしてほしい。諏訪市では無料で受けられると聞いた（婦人科系）。
- 「医療体制の充実」は、透析専門医の設置。基本的な不備。「危機・防災・減災対策の推進」は、不燃物の処理。家庭で分別は無理。「観光の振興」は、公共物でのエレベータ設置。最悪手すりは足の悪い者には必要。病院など。
- 健康づくりは自分でやってみて、長期間続けてこそ効果があると思う。少しずつでも多くの人が参加できる体制になるとよいと思う。高齢化でたくさんの買い物が必要でなく、ますます個人の商店はなくなってしまうように思う。
- 子どもの教育については、一番に考えて取り組んでほしいです。岡谷市は道が狭いので、子どもたちの通学がとても心配。道を広く、また、側溝に車が落ちることがあるので、側溝のふたを取り付けてほしい場所がいくつかある。
- いじめをできるだけ減らせるような学校の教育方針をしていただきたい。道路の舗装整備をこまめにしてもらいたい。
- 常識的な教育（精神的なこと）。道徳的な教育（日本人の伝統）。家族的な会話、子どもの気持ちを大切に。義務教育のありがたさを教える必要性。昔と比べること。
- 道徳的教育をする。
- 子どもの教育、市の職員を減らす、天下り先ばかりつくらないこと。
- 小学校低学年から英語を必須科目とする。
- 学力、知力をしっかり身につける教育。人間関係について。
- いずれも地域の見守りと声かけが必要だと思う。学校教育においては、先生方の先生であるというプライドを持って教育に臨んでほしい。
- 教員の仕事の分散。事務的な分野のサポート。学校の事務とは別に、授業に必要な事務的サポートをする事務職員を学校ごとに何人か入れる。
- 岡谷小学校の存続。
- 学校施設の整備、充実。青少年スポーツの振興。

- 未来を担うのは子どもたち。子どもたちが安心して生活できるよう、保育所や学校、そして子育てをする若い人を応援することが大事だと思う。大町市は小水力発電など、いろいろなところでやっている。そんなことも検討してはどうか。
- 子どもの学費が中学校からものすごくかかる。部活動や社会体育を含め、親の収入が多くなるわけではないので、なるべくかからない、または補助をして子どもたちを全員同じように育ててほしい。
- 教育費の大幅な増額。
- 子育て支援、少子化対策。教育費の無料化。
- 各小中学校への予算配分が少ない。
- 岡谷市にきて思ったのは、子どもがいる家族にはよい環境だと思う（公園があつたり遊ぶ場所がある）が、子どもがいない家族にはやや不快感がある。このとり支援をもっと活発にやってほしい。
- 児童公園があつても草ぼうぼう、またはゴミがある。車を停めるところがないので幼い子どもをつれて行けない。つれて行っても汚くて遊ばせられない。
- 諏訪湖周辺には子どもが遊ぶところがありますが、ほかにもつくってほしい。
- 魅力のないまちに観光客は来ない。子どもが少ないまちで産もうとは思わない。保育支援の充実感がない。何も入っていないビルに店を出そうとは思わない。岡谷は空いている土地が少ないのもあるが。観光、子ども、土地活用。特に子ども。子どもを産みたいまちに。
- いじめ、虐待、自殺の食い止めに力を入れるべき。高齢者の介護保険が高すぎる。
- 若者が流出しない、雇用対策と企業の誘致。
- 雇用対策のために、地域が若者の就職を手伝う。
- 企業誘致やテクノパークをつくり、雇用を創出する。青少年の健全教育およびスポーツ文化（冬スケート）のための施設整備および指導者育成やクラブの充実。
- 岡谷市には優れた技術やものづくりのノウハウがあるが、それを海外を含めて外に売り出す力が弱い。中小企業に仕事を引き込む情報支援センターの設立が必要。海外スペシャリストを抱え、岡谷広域ビジネスセンターを創立したらどうか。
- 今、岡谷市は働く場所（会社）が本当に少ない。これでは、子どもたちも、子どもを育てる親も、教育資金入手が大変困ると思う。働く場所が多ければ、子どもたちも岡谷市にとどまるし、子どもを教育する親も助かると思う。
- これ以上人口が減少しないよう、大企業を受け入れる工場が増え、働く人が増えて、岡谷市に行けば楽しい施設があるようにする。また、介護事業だが数年前は施設を探すのにとっても苦労した。他町では包括支援センターが動いていて、あまりの違いにがっかりした。
- 雇用対策。
- 市の税収、人口減を考え、企業誘致してほしい。病院も信州大学からの先生でなく、医師が常勤していただくようにしてほしい。
- 安心して働く（働ける）場所がもっとあれば収入も安定してくると思う。そうすれば、ほかもどんどんよくなっていくと思う。
- 工業は岡谷市の基盤だと思うので、企業誘致や土地の整備は力を入れてほしい。雇用の確保の上で、子育て支援も大事だと思います。

- 岡谷市は大きな企業がどんどん出て行ってしまう。トウウ発があその山の土地をほしがったときもやらなかった。みすみす逃してしまうようなことをする。
- 今頃いうことではないが、今までは大企業を外に出してきたのは大きな間違いであって、これからは企業誘致をして、雇用を増やして人口増加することが大事ではと思う。
- 土地がない、高い等で企業が流出してしまう。それを防ぐための施策を考える。新しい企業を誘致する方策を考えていきたい。
- 産業の振興により人口を増やし、市政拡大とつなげるべき。
- 第一に中小企業対策に力を入れるべきである。岡谷市はかつて製糸工業の地として栄え人口も60,000を超えたときがあった。そのときは全国各地から人々が集まり、隆盛を極めたこともあった。工業対策に力を入れてくれれば、あとは自然についてくると思う。
- 技術力のある岡谷の企業の人的財産を活かせる事業の推進をお願いしたい。企業の起業への援助など。
- 観光資源の再抽出と活用。目指す姿の具現化。例えば、福祉都市への取り組み。自然保護への取り組みなどを通し自然との確立。
- 観光施設が不足しているため、例えば旧片倉家は市が買い取ったり、旧山一林組事務所を開放したりする。また、鶴峰公園のつつじ、宮坂製糸所、旧林家住宅などはシャトルバスを出すとか。
- 経済的発展が市民、市の景気回復にもつながる。岡谷市にはよい自然が文化がたくさんある。もっと観光客が集まる、来やすい市に力を入れてほしい。観光面での経済効果は大きい。それに費用が多少かかっても後に返ってくれば市民は文句はないと思う。決まり、規則にとらわれず斬新な考え、アイデアを取り入れてほしい。
- 「観光の振興」は、諏訪湖周辺に各種イベント・店などを集約して、観光客を呼ぶ場所をつくる。「青少年の健全育成」は、青少年が元気ある毎日を過ごすことができるように。「道路の整備」は、辰野線が1本しかない道路の拡幅もあまりにも遅い。県の予算がないことはわかるが、1日も早く中を広げ、できたらもう1本直通の道路計画をつくってもらいたい。
- 地域の間人だけすすめる事業はよくない。私は流通・証券・メーカーと、日本（東京含め）全国の人脈をつくったが、若い新しい息吹のある、感性のある人材が必要。観光部長、起業支援部長、総合福祉部長を採用し育てて、「岡谷の中間幹部は凄い」、新しい産業を育てて（IT・福祉ほか、上場を目指せるくらいの）、福祉も育成充実していると言われるようにならないといけない。厳しい事を言うが、地域の自己満足となっている。これは岡谷市だけでは無理だ。諏訪・茅野・塩尻・松本を巻き込んだ大きなビジョンが必要。
- 「工業の振興」や「商業の振興」の活性化。「高齢者福祉の推進」は、高齢者の増加による施設の充実。老人ホームなど。
- 工業、商業とも元気がなく、外に行く傾向があるように思う。
- 新しい産業を創出する工夫がほしい。
- 生活基盤としての産業育成を推し進める。
- 製糸業で盛えたように、底力のあるまちだと思う。一人ひとりの力も大きい力、底力となり糸口があれば叶えられると思う。
- 周辺の市町村と連携した観光の推進。少子化対策。
- 冬の雪の取り扱い。
- 道路整備、生活道路の補修、雪かき。

- 少し違うかもしれないが、冬の雪道の除雪が岡谷市は遅いと思う。もう少し丁寧になんとかしてほしい。
- 道路など冬の除雪の遅さは大変困る。
- 冬の道路の雪に対しての対策は近隣の市に比べてかなり遅れていると思う。特に今年は降雪時に岡谷市内に入ると道路事情が悪く危険を感じた。
- 高齢者世帯・障害者世帯の雪かきが大変。地域で協力して安全な福祉のまちにしてほしい。
- 道路についている花壇の草取りなどの手入れが悪い。
- 道がつぎはぎだらけで汚いし、ガタガタ。
- 市内の道路はどこもガタガタしている。整備してほしい。歩きづらい。せつかく新病院ができるのだから医療にも力を入れてほしい。
- 山間部を開発整備し、工場団地や住宅地を増やし、人口の増加をはかる。そのために、道路を整備し、公共交通網の整備を進める。
- 道路の整備を早めに。
- 市道の「かまぼこ道路」を解消し、自転車や人が歩きやすく改善する。市道に生垣の枝などが出ているところが多いが、歩行者が歩きにくい。これを改善するための対策が必要。
- 岡谷市中の道路は渋滞が多い。特に塩尻峠から諏訪湖まで。自転車専用レーンをつくってほしい。環境にもよいので。
- 湖畔道路の拡幅と歩道の取りつけと整備。
- 道路、橋梁、上下水道等、社会インフラの補修について、計画的に推進してほしい。市民のニーズを市政に取り入れるなどの施策として、市職員がまちに出ていく必要がある。研修として市内の企業や商店で仕事を手伝わせてもらい、一緒にご飯を食べる事業を行ってはどうか。
- 歩道の確保と、道路の破損の修理。道路拡張。
- 「生活安全対策の推進」は、交通で一時停止力所の徹底、注意喚起をもっとしてほしい。危険運転（一時不停止）が多く、危険な場所が多い。
- もっと店を増やす。
- 中央通り、駅前シャッター街がなんとかなるといい。せつかく学生のまちなのに、ゲームセンターのある建物の衣料や店を、一部でも学生向けにすればいいと思う。
- 中央通りの活性化。
- 商店街がさびしいと、まち全体に活気が感じられない。観光にも力を入れ、岡谷市内で買い物をしてもらえるような観光コースをつくる。
- 岡谷駅前から商店街に活気がなく、魅力がない。市民がひとつになる、注目するイベントの開催。他県民が集まる魅力的なまち（イベント）を目指してほしい。
- 岡谷市にはアウトレットモールなどの大きなテーマパークがない。満足な買い物などができず、県外へ2・3時間かけて買い物へ行く。充実していない地域として若者は永住しないと思う。人口も集まらない原因では。
- 岡谷市には魅力的な商業施設が少なすぎる。
- 19時をすぎると駅前が暗くなる。元イトーヨーカドー跡地の利用が必要と考える。
- 岡谷市に衣類を売っている店が少ないと思う。
- 飲食店が少なく、諏訪方面へ行く。岡谷市内に人をとどめる。

- 増加している空き家対策。可能なところは市で購入し、特別市営住宅として安く貸し出す。状況を早く正確に把握しておくことが必要。
- 公共施設の屋根、学校の屋根に太陽光発電を設置。空の公共施設、空地の団地に太陽光発電を設置。特に高尾団地は空地が多く、斜面が好適地である。
- 発電への取り組み。電気を売って、子ども、高齢者のために使う。
- 「まちの活力を高める市街地整備」は、市街地とあるが、現在人が住んでいるのは長地・今井など周辺である。この活性化はどう取り扱うのか。
- 市民はもとより市外の方からも魅力あるまちづくりをお願いしたい。
- 今でも公会所ごとにやっていると思うが、もっと広く各隣組で10日に1度ぐらいの割合でラジオ体操とか、朝の10分ぐらいの顔合わせの時間がほしい。
- サッカー場（人工芝）。
- 何をするにしても財源が必要。
- 具体的な事業ではないが、どの事業でも資金の注入が大事な要素であるので資金の調達と資金の重点的効果的使用をもっと真剣に取り組んでほしい。
- 消防団員の若手の確保。
- 「平成24年度ねこまぬ先のガンバレッスン！」に参加した。今後もこのような計画を続けていきたい。
- 廃棄物のリデュース、リユース、リサイクル。
- 横川のサクラ、鶴峰のつつじ。
- 「地域福祉の推進」で隣組を活用し、福祉活動をもっと充実してやったらと思う。
- 砂防ダムは現在その機能をなしていない。（中村、常現寺沢）大水が起これば、下流の区域は大きな被害を被ると思う。
- 古来の文化・伝統・歴史の伝授・育成。
- 諏訪湖の水質改善。これから夏にかけて臭い。働く場所がない。狭く分かりづらい。道がないから渋滞のときに困る。
- 税金の見直し。
- 将来の治山、治水事業がとても心配している。個人個人、協力はしなければいけない。水は命、頑張らねばいけない。
- 「市政への市民参画の推進」は、先進市などの研究、取り入れなど、市民参加のきっかけを探す。茅野市は今すごく元気を感じるがなぜかとか。
- 今後の計画の前に今までの反省と改善が必要。事例として旧東急の大失敗。中央通りを分断し、かつ活力がないエリアはどうするのか。
- 他市、他県から人を呼ぶ企画・取り組み。岡谷ならではの発信する何かを発掘するものとか。